

ガサガサして魚ゲット

環境みらいの会 真南条川で生き物観察

（10人、会長） 篠山環境みらいの会 真南条下の真南条川
は、地域の自然環境を
知ってもらおうとこのほ
ど、真南条下の真南条川
で武庫川上流の生きもの
観察会を開いた。丹波篠
山市内の幼稚園児から高
校生とその保護者計20人
が参加。たも

たも網を川岸の茂みの根元に突っ込みながら、川の生き物を探る子どもたち＝丹波篠山市真南条下で



東雲高校自然科学部の生徒から解説を受ける子どもら



が参加。たも網を手に川に飛び込み、水の中へ潜んで、川上に向

を懸命に探った。網の中に獲物が入ると、「捕ったでー」と元気がいいの声を響かせていた。

講師は、篠山東雲高校自然科学部の部員2人と、同部顧問で同校理科

を懸命に探った。網の中に獲物が入ると、「捕ったでー」と元気がいいの声を響かせていた。

友だちとにぎやかに魚捕りをしていた古市小学校5年生の（さん）は、「この川は去年までよく魚捕りに来ていた場所。以前よりミズカマキリが増えていた。大勢で探したら、思っていた以上にいろんな種類の生き物がいることが分かり、驚いた」と話していた。

小さな子どもたちは股下まで水に浸かり、教わった通りにガサガサと獲。部員らが用意した水槽やバットに、大まかな種類ごとに分けて放った。

丹波篠山市は、加古川、武庫川、由良川の3つの川の源流にあたる地域。観察会の舞台となった真南条川は、武庫川の支流の一つ。カワムツやドンコなどの魚類7種をはじめ、ヌマエビやヤゴなどの水生生物合わせて約20種類を確認した。

生き物が集まると、部員たちによる解説タイム。「田んぼにもたくさんいたドジョウは、いまや絶滅危惧種。県版レッドリストのBランクに指定されるほど数が減っている」「タナゴの仲間のアブラボテは二枚貝に卵を産み付けるが、二枚貝の減少に伴い、この魚も数を減らしている。レッドリストCランク」などと丁寧に説明していた。

友だちとにぎやかに魚捕りをしていた古市小学校5年生の（さん）は、「この川は去年までよく魚捕りに来ていた場所。以前よりミズカマキリが増えていた。大勢で探したら、思っていた以上にいろんな種類の生き物がいることが分かり、驚いた」と話していた。

2025年8月31日

丹波新聞